

熱中症予防に向けた学校の取組について(お知らせ)

新緑のさわやかな季節となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健やかに過ごしのことと存じます。

また、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、近年は気温の高い日が多くなり、子どもたちの熱中症予防がますます大切になってきています。そこで本校では、国のガイドラインをもとに、子どもたちが安全に学校生活を送れるよう「熱中症対策マニュアル」を整え、日々の教育活動に生かしていきます。

つきましては、ご家庭でもご協力をお願いしたい点について、以下のとおりお知らせいたします。

主なお願い

○ 暑さ指数に応じた活動の工夫

当日の暑さ指数（WBGT）を参考にしながら、運動や外での活動の内容を調整していきます。状況によっては、活動の変更や中止を行うこともあります。

○ 水分補給について

毎日の水筒持参にご協力をお願いいたします。6月以降の暑い時期は、水やお茶に加えてスポーツドリンクも持たせていただいてもかまいません。ただし、飲みすぎや濃さにはご配慮ください。

○ 体調の確認

登校前には、お子さんの体調確認をお願いいたします。特に、休み明けなどは暑さに体が慣れていないため、無理をしないことが大切です。

○ 服装や身につけるもの

暑い日は、帽子をかぶる、風通しのよい服装にするなどの工夫をお願いします。なお、ネッククーラーの使用は登下校時のみとします。

○ 教育活動の変更等について

暑さの状況によっては、運動や行事の内容を変更したり、中止したりすることがあります。また、安全を考えて早めに下校する場合もあります。その際は、緊急メール等でお知らせしますので、ご確認をお願いいたします。

○ マスクの着用について

マスクの着用は各自の判断となっておりますが、熱中症予防のため、運動時や登下校時などは無理のないよう適宜外すようお願いいたします。

子どもたちが元気に安心して過ごせるよう、学校でも引き続き見守ってまいります。今後とも、ご理解とご協力をよろしくをお願いいたします。

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安(*1)	日常生活における注意事項(*1)	熱中症予防運動指針(*2)
31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28～31℃		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人*は運動を軽減または中止。
25～28℃	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険性が高いため、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21～25℃	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

*教育活動につきましては、当日の暑さ指数に基づき、原則的に表のように対応します。

